

単位認定インターンシップに行ってきました (File.2)

(授業科目名：世界教養プログラム／就業体験)

派遣先企業・機関名：矢崎（中国）投資有限公司

配属部署：総務科、人事科

研修期間：2019年8月26日～2019年9月6日（10日間）

国際社会学部国際社会学科北西ヨーロッパ地域/英語 1年 マッコレー瑛黎奈
(他 言語文化学部言語文化学科中国語/東アジア地域 2年 橋尾飛鳥)



■参加した理由

私がこのインターンシップに参加した目的と理由は3つあります。

1つ目が「働く」事に対して明確なイメージを持つこと。学生としてアルバイト以外で「働く」現場に触れ合うことが少ないため、今回のインターンシップは将来のためのイメージづくりに最適だと考えました。

そして、目的の2つ目が海外に在る日系企業の特徴を理解するということ。矢崎（中国）投資有限公司の本社は東京に、Y-CITYとよばれる会社の中心は静岡に位置していますが、矢崎グループ(*)の中国本社としての役割を担っているのが、私たちが今回お世話になった上海事務所です。

最も重要な参加理由はこれからの4年間の大学生活で何を勉強し、働く前に身につけておくべきスキルは何か探すことでした。一年生としてインターンシップに参加し、これからの大学生活に新しい意味を見出すことを達成したかったのです。

*** 矢崎（中国）投資有限公司とは**

矢崎グループは主にワイヤーハーネスなどの自動車機器や計装機器を製造する会社として知られています。また、最近では環境リサイクルや介護、農業など新規事業にも力を入れています。従業員は日本国内に2万人、海外に30万人以上います。

私たちは中国本社である上海事務所で人事総務部の業務を体験しました。

<https://www.yazaki-group.com/company/>

■ インターンシップの内容

10日間のスケジュールは以下の通りです。

1日目： 矢崎グループの紹介

2日目： 25号棟検測実験室・上海自動車博物館の見学

3日目～5日目： 〈総務部門〉

受付、従業員通勤登録、固定資産管理、
事務用品発注、契約書整理
資料翻訳（日英）、出向者関連業務

6日目～8日目： 〈人事部門〉

新人教育（矢崎精神・企業文化）、
入職・試用期間・離職の説明、面接立ち会い

9日目： HZY（杭州工場）見学

10日目： 成果報告会

2週間のうち1週目は総務科で、2週目は人事科で業務を体験しました。

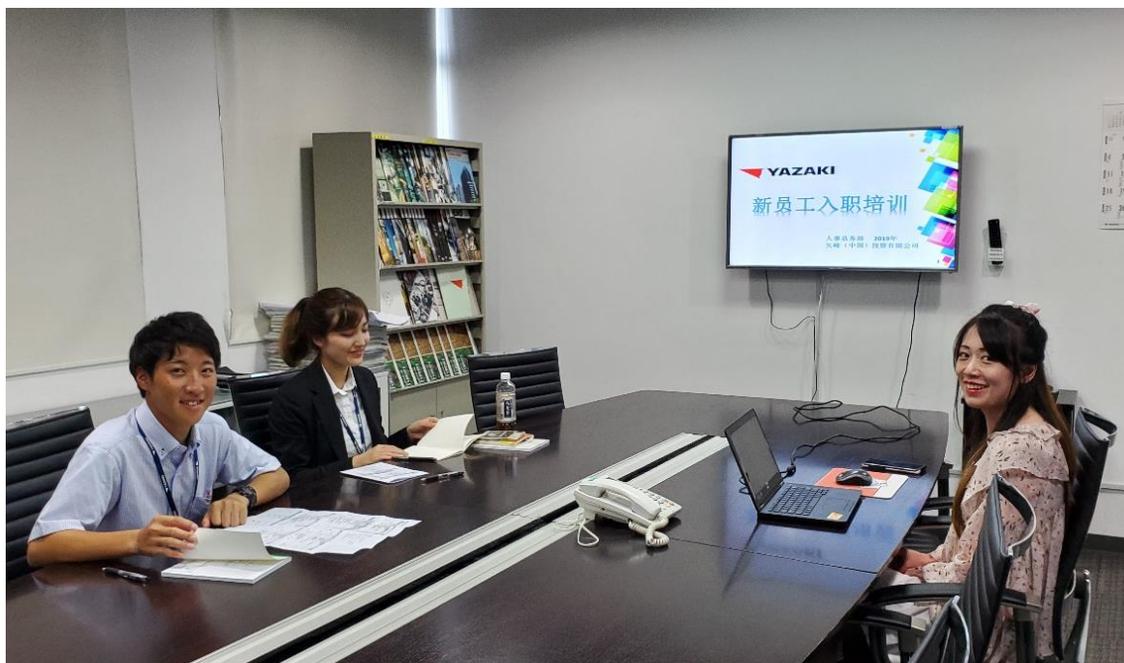
総務科では、英語専攻の私は日本語で業務の説明を受け、中国語専攻の橋尾先輩は中国語で説明を受けていました。説明を受けた後は実際にエクセルなどのパソコンソフトを使って従業員通勤登録や事務用品発注などの業務を行い、指導役の上海事務所の方々は常に隣にいて、すぐにアドバイスや改善点を教えてくださいました。

また人事科では、実際に中途採用面接に立ち会って質問をしたり、新人教育で行われる内容を教えていただいたりしました。採用側に座って面接に立ち会うのは緊張しましたが、挨拶やマナー、笑顔などの基本が大事なのだと改めて気づかされました。





杭州工場での見学の様子
矢崎グループの海外拠点を紹介されています。



初日、総務科の現地社員の方から説明を受けている時の様子
スライドは中国語、説明は日本語です。とても緊張しています。



上海自動車博物館での見学の様子
後ろの車は中国で特別な意味を持つ車です。
自由に見学することができました。

■記憶に残るエピソード



日系企業とはいえ、中国にある会社なので日本とは大きく違う文化にびっくりすることもありました。

まず、上の写真のように、お昼は出前を取ることがほとんどでした。そのため、会社のビルには出前の宅配配達員の方が多く出入りしています。社員の方は会社から一歩も出ることなく、近隣のレストランの美味しい食事を楽しめます。

また、昼食の後には昼寝の時間があります。決められているわけではないですが、習慣として、昼食の後には事務所内の電気を消してみなさんデスクで仮眠をとります。初日はとても驚きましたが、メリハリをつけて仕事をしているから残業がほとんどないのだと理解しました。



お昼は総務科の方とご一緒させていただきました。上司も部下も関係なくフランクにお話していて、普段からとても楽しそうでした。

■自分の気づき、学んだこと、これからどう活かす

インターンシップに参加した理由と目的に沿って、結果を考えました。まず、1つ目の「働く」ということに対しては人事や総務の仕事を実際に体験することで、明確なイメージ作りができました。人事では会社内の人の管理をしていて、採用や離職面談はもちろんのこと、新人教育や試用期間を経て人財の育成に励んでいると知り、総務では周りの社員が働きやすく、過ごしやすい快適な環境づくりに努めていると分かりました。

2つ目の海外に在る日系企業の特徴というのは日本の長所を活かしながら現地の工夫を取り入れ、2つを融合させていると分かりました。矢崎中国では日本の「報連相」を徹底していますが、中国現地の転職の文化や昼食後の昼寝の風習などを取り入れ、柔軟に対応していることが伺えました。

3つ目の大学生として必要なスキルは主に2つに分類できたと思います。短期集中で習得できるものと長期にわたってこれからも一生培っていくものです。短期のものは語学力とパソコンスキル。矢崎中国では中国語のほかにさらにもう一言語を完璧に話す人が多く、そのおかげで日本や欧州・米州とのやりとりがとてもスムーズに行えているのだと感じました。長期のスキルは想像力とリサーチ力です。主に総務の仕事では過ごしやすい環境づくりをするために事前に起こりうることを予測し、それをリサーチして事前に対処することが大切だと教わりました。例として出向者のスケジュール管理を挙げます。日本から上海に出向者が来ることが決まると、居留申請や就業申請、アパートの下見や携帯電話のレンタルなど事前に必要なあらゆるものを予測し、事前に調べて準備する必要があります。このため、起こりうることを予測するためには想像力、必要な情報を探し出すためにはリサーチ力が必要だと考えました。

■学生への呼びかけ（インターンシップのすすめ）

このインターンシップでは最初から最後まで「人の優しさ・温かさ」に触れることができました。初めて中国本土を訪れ、緊張していた私に優しく業務を教えてくださいました。初めて中国本土を訪れ、緊張していた私に優しく業務を教えてくださいました。自分の成長にもこのインターンシップは大きな意味を持っています。

学生の皆さん、迷っているならば、ぜひ参加してください。必ず良い経験となります。



■感謝のことば

最後に、貴重な経験ができたのは矢崎（中国）投資有限公司の人事総務部をはじめとした皆様および、グローバル・キャリア・センターの皆様のおかげです。私たちが何も心配せずに現地で過ごすために多くの時間を使った準備があったと今回の学びからわかっています。その努力を無駄にしないよう今回学んだことをこれからの大学生活での学びと、その先の将来に役立てていきたいです。上海で皆さんと過ごした時間、そして、いただいたお褒めの言葉やアドバイスの一つ一つは一生の宝物です。本当に皆様ありがとうございました。

